

優勝！熊本市体協第三フロッグ親子テニスボール大会

平成二十二年第三フロッグ親子テニスボール大会が、浜緑健康パークで酷暑の八月一日(日)八校区が参加して実施された。

田迎校区のチームスタッフは、高本浩光監督とコーチは各町内支部長。選手は子ども(男子12名、女子6名)と親20名でチームを編成した。

子どもは、田迎小学校で4回練習した。体協部員の指導もあり個々の能力が高まった。親は託麻中学校で2回練習をして大会に臨んだ。

予選リーグ戦で、力合校区を23対14で、日吉校区を23対17で下し2勝し、パートナー1位だった。

富田塾跡

富田塾というのは、肥後の勤王家として知られた富田大鳳の家塾のことである。

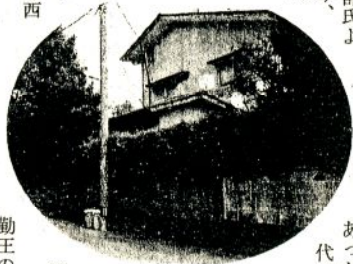
富田氏は、菊地家の家老隈部氏より出て、久しく山鹿郡内に住み、大鳳の祖父童門の時、細川家の藩医として仕え、養子春山(長野氏より出)は儒学を以て藩校時習館の教職に就き、山鹿郡津袋村から熊本に出、新坪井職人町(竹屋町)に住んで、自分の別荘に因んで「蒼真舎」という塾を開いた。

大鳳の時になって千反畑町に移り、更に射場町(妙休寺町八五)に移ったが、明治十年西南役の際焼失した。

安政の始、第六代守善(寒泉)は、田迎の方から招かれ、義父宗栗(龍腸)と別れ、田迎に来て別に門弟を教えたので、一時は府外二ヶ所に塾があった。

田迎の史跡めぐり

シリーズ⑯



竹屋町以来の「蒼真舎」の顧客や、勤王の志士高山彦九郎が寛政四年(一七五二)来熊の頃、富田大鳳に京都土産として贈った御物の皿、その他富田氏系図や遺品が保存されている。

九二来熊の頃、富田大鳳に京都土産として贈った御物の皿、その他富田氏系図や遺品が保存されている。

〔巻頭は田迎四丁目六十二〕

じいちゃん、ばあちゃん、ありがどう

ばくのおじいちゃんとおばあちゃん

ぼくのおじいちゃん、はよくばくのおばあちゃんにはいれたいです。でも、ぶかつは4ねんせいからで、ぼくは、まだはいれませぬ。それに、まだやきゆうをするときまでないの、じいちゃんとおばあちゃん、はい。

おばあちゃん、はい。

おばあちゃん、はい。宗栗が老いて、明治五年には射場町塾を閉じ、田迎の守善宅に移った。宗栗の実子世光は、父を助けて射場町塾を維持する傍ら、迎町に医を開業し、優秀な人物であったが、早世し、この妹エエ子(八代)で富田家を継いだ。

田迎の塾は明治十一年、二年頃閉塾になったが、現在、故園田守生歯科医の住居になっている。当主の曾祖父に当たる園田大策氏は、その人物を見込まれて富田家の養子に迎えられ、嗣子守氏と共に一時富田姓を名乗って塾及び医業を継いだ。富田氏遺族の八代転出に伴い邸宅も引き継いだ。

勤王の志士高山彦九郎が寛政四年(一七五二)来熊の頃、富田大鳳に京都土産として贈った御物の皿、その他富田氏系図や遺品が保存されている。

田迎五町内盆踊り大会



恒例の田迎五町内「納涼夏祭り盆踊り大会」が平成二十二年八月七日に田迎二丁目公園において開催されました。祭りの前日にはJA農協婦人部や子ども会の皆さんが田迎公民館において踊りの練習に精をだしました。祭り当日は、昼間は猛暑であったにも拘わらず、夕方からなんとなく涼しい風が吹き、浴衣姿でいっぱいとなった会場は清々しい雰囲気につつまれました。勇壮な田迎太鼓の演奏から始まった会場では、子ども達による「スイカ割り大会」では、「スイカの香り」を夏の思い出として楽しんでいました。続いての総踊りでは、「おてもやん、ごちそう讚(さん)、ポケモン音頭、きよしのズンドコ、サンバおてもやん、炭坑節」と踊りの「輪(和)」は広がりました。人気の「福引き」では心わくわく、このように夏の夜のひとときを楽しく過ごしました。今年も地域の皆さんのおかげで、心かよう祭りができたことに感謝します。(田迎五町内自治会長)

交通安全をなくす

八月二十五日(木)、田迎公民館において、午前九時三十分から、田迎校区老人会と交通安全協会主催による交通安全講習会が行われた。高本交通安全協会の挨拶があったあと、講習会が始められた。はじめに、南署の宮崎さんから交通事故の現状の説明があった。交通事故の60%以上が高齢者である事や、南署管内の重点校区として、田迎と田迎南が指定されているとの事である。

安全教室

講習会は、ビデオによる横断方法の指導。歩く速度で7mを何秒で歩くかの体験をした。参加者は50名を越え、全員が事故の恐ろしさや交通安全の大切さを知った。最後に「とまと」による交通安全を学ぶ。「とまと」の「と」は「とまれ」、「ま」は「まて」、「と」は「とびださない」を確認して講習会を終了した。

編集後記

十月になり暮しやすしい時期になり、ますます御健勝の事と思います。先日の体育会は雨で中止になりました。今月は多くの方から原稿をいただきました。掲載できなかった原稿は次回にまわします。

